

第4次計画（2024～2028年度）

基本理念 「人から人へ 伝えよう本の楽しさ 未来へつなぐ読書体験」

関係機関	3つの柱	具体的な取組 (重点目標)		取組内容	達成度
保育園	1 本を好きになる機会の提供	① 読み聞かせ事業の継続	全園	・保育の中で、保育士が読み聞かせをする。	
			1 森岡保	・保育の中で、季節や子どもの興味に合った絵本を探し保育士が読み聞かせをする。	
			2 森西保	・保育の中で、季節や子どもの興味に合った絵本を探し保育士が読み聞かせをする。	
			3 緒川保	・保育の中で、季節や子どもの興味に合った絵本を探し保育士が読み聞かせをする。	
			4 新田保	・保育の中で、季節や子どもの興味に合った絵本を探し保育士が読み聞かせをする。	
			5 石浜保	・保育の中で、季節や子どもの興味に合った絵本を探し保育士が読み聞かせをする。	
			6 石西保	・保育の中で、季節や子どもの興味に合った絵本を探し保育士が読み聞かせをする。 ・ボランティアによる読み聞かせをする。（年3回）	
			7 生路保	・保育の中で、季節や子どもの興味に合った絵本を探し保育士が読み聞かせをする。	
			8 藤江保	・保育の中で、季節や子どもの興味に合った絵本を探し保育士が読み聞かせをする。	
		② 貸出事業の推進	1 森岡保	・絵本の貸し出しをする。（月2回）	
			2 森西保	・絵本の貸し出しをする。（月2回）	
			3 緒川保	・希望者に絵本の貸し出しをする。（随時）	
			4 新田保	・絵本の貸し出しを2週に1回行っている。（5月開始）	
			5 石浜保	・希望者に絵本の貸し出しをする。（随時）	
			6 石西保	・希望者に絵本の貸し出しをする。（週1回）	
			7 生路保	・絵本の貸し出しをする。（月2回）	
			8 藤江保	・絵本の貸し出しをする。（月2回）	
		③ 家庭での読み聞かせの推奨	1 森岡保	・月2回の貸し出し絵本を通し、家庭で絵本に触れる機会を持てるようにする。	
			2 森西保	・月2回の貸し出し絵本を通し、家庭で絵本に触れる機会を持てるようにする。また「よむらび通信」を掲示し本の紹介をする。	
			3 緒川保	・図書館案内「よむらび通信」を掲示して本の紹介をする。	
			4 新田保	・図書館案内「よむらび通信」を掲示して本の紹介をする。	
			5 石浜保	・図書館案内「よむらび通信」を掲示して本の紹介をする。 ・推薦書を貸し出しコーナーに設定し、紹介をしている。	
			6 石西保	・中央図書館の図書案内「よむらび通信」を掲示し本の紹介をする。	
			7 生路保	・月2回の貸し出し絵本を通し、家庭で絵本に触れる機会を持てるようにする。	
			8 藤江保	・月2回の貸し出し絵本を通し、家庭で絵本に触れる機会を持てるようにする。また「よむらび通信」を掲示し本の紹介をする。	

第4次計画（2024～2028年度）

基本理念 「人から人へ 伝えよう本の楽しさ 未来へつなぐ読書体験」

関係機関	3つの柱	具体的な取組 (重点目標)	取組内容		達成度
保育園	3 関連機関の連携・協力	⑮ 団体貸出制度の推進	1	森岡保 ・行事の際、団体貸出制度を利用する。	
			2	森西保 ・行事の際、団体貸出制度を利用する。	
			3	緒川保 ・行事の際、団体貸出制度を利用する。	
			4	新田保 ・行事の際、団体貸出制度を利用する。	
			5	石浜保 ・行事の際、団体貸出制度を利用する。	
			6	石西保 ・行事の際、団体貸出制度を利用する。	
			7	生路保 ・行事の際、団体貸出制度を利用する。	
			8	藤江保 ・行事の際、団体貸出制度を利用する。	
		⑯ リサイクル資料の活用	1	森岡保 ・家庭で不要になった本を頂き活用する。	
			2	森西保 ・家庭で不要になった本を頂き活用する。	
			3	緒川保 ・図書館から不要になった本を頂き活用する。	
			4	新田保 ・家庭で不要になった本を頂き活用する。	
			5	石浜保 ・中央図書館で不要になった本を活用する。	
			6	石西保 ・中央図書館で不要になった本を活用する。 ・家庭で不要になった本を頂き活用する。	
			7	生路保 ・家庭で不要になった本を頂き活用する。	
			8	藤江保 ・家庭で不要になった本を頂き活用する。	

第4次計画(2024～2028年度)

基本理念 「人から人へ 伝えよう本の楽しさ 未来へつなぐ読書体験」

関係機関	3つの柱	具体的な取組 (重点目標)		取組内容	達成度
児童館・子育て支援センター	1 本を好きになる機会の提供	① 読み聞かせ事業の継続	1 森岡児	・子どもや職員による読み聞かせを、毎週水曜日に行う。 ・こあらの日やはなはなベビィに読み聞かせを行う。 ・学校休業日に職員や子どもによる読み聞かせを行う。	
			2 緒川児	・こあらの日、はなはなベビィで読み聞かせを行う。 ・学校休業日に職員や子どもによる読み聞かせを行う。	
			3 新田児	・こあらの日、はなはなベビィで読み聞かせを行う。 ・学校休業日に職員や子どもによる読み聞かせを行う。	
			4 石浜児	・こあらの日、はなはなベビィに読み聞かせを行う。 ・個別、少人数での読み聞かせを行う。	
			5 石西児	・児童クラブ児対象に職員による読み聞かせを行う。 ・こあらの日に読み聞かせを行う。	
			6 生路児	・はなはなベビィ・こあらの日に読み聞かせを行う。 ・個別、少人数での読み聞かせを行う。	
			7 藤江児	・週2回ボランティアや職員による読み聞かせを行う。(木…ボランティア月…職員) ・子育て支援事業時に読み聞かせを行う。	
			8 支援セ	・ボランティアや職員による読み聞かせを水・金曜日に実施する。 ・火曜日の赤ちゃんタイムで職員による読み聞かせをする。	
	② 貸出事業の推進		1 森岡児	・貸し出しについてこあらの日、はなはなベビィの日や来館時に貸し出しができること児童館だよりや掲示にて知らせる。また、こあらの日、はなはなベビィの日や来館時に貸し出しができることを知らせる。 ・ほんよみビンゴを行い、子どもたちに本を読んでもらうきっかけを作る。	
			2 緒川児	・1人6冊2週間貸し出しできることを、児童館だよりや掲示等で知らせる。 ・こあらの日、はなはなベビィの時や来館者に口頭でも知らせていく。	
			3 新田児	・1人6冊2週間貸し出しできることを、児童館だよりや掲示等で知らせる。又、課題図書の新着について児童館だよりや掲示等で知らせる。こあらの日、はなはなベビィの時や来館者に口頭でも知らせていく。 ・利用者のニーズに合った本が用意できるよう、リクエストが出せる機会を作る。	
			4 石浜児	・乳幼児室や、図書室に絵本の貸し出しを知らせる掲示をする。 ・利用者に興味のある本や入れてほしい本のアンケート、児童館に人気の本の調査等をする。	
			5 石西児	・1人6冊2週間貸し出しを行う。 ・おすすめの本を掲示やたより等で知らせたり、館内の掲示で知らせたりする。 ・こあらの日等で絵本の紹介や貸出についても知らせる。	
			6 生路児	・1人6冊2週間貸し出しを行う。 ・おすすめの本を玄関ホールなど利用者がよく見える場所に展示する。 ・はなはなベビィ・こあらの日には絵本の紹介を行い、借りられることを知らせる。	
			7 藤江児	・児童館の本を1人6冊2週間貸し出しできることを児童館だよりや、親子支援事業時に知らせる。 ・新書が入った時にはその都度、児童館だよりや掲示で知らせる。	
			8 支援セ	・子育て広場にて季節の絵本やスタッフおすすめの絵本を目の付く場所に置き、親子で絵本に興味を持てるようにする。 ・気に入った絵本を家庭でも見れるように1人2冊1週間貸し出しが出来る事を広場内やホームページ等で知らせる。	

第4次計画(2024～2028年度)

基本理念 「人から人へ 伝えよう本の楽しさ 未来へつなぐ読書体験」

関係機関	3つの柱	具体的な取組 (重点目標)	取組内容		達成度
		③家庭での読み聞かせの推奨	1 森岡児	・中央図書館の児童新刊案内「よむらび通信」を見やすい所に掲示し、保護者の図書選びの参考とする。 ・家庭との連携を行い、発達や興味に合わせた本を定期的に紹介する。 ・ブックスタートの本の交換ができることを検診などでPRする。	
			2 緒川児	・中央図書館の児童新刊案内「よむらび通信」を見やすい所に掲示し、図書選びの参考になるようにする。 ・ブックスタートの本の交換ができることを検診などでPRする。 ・親子事業の際におすすめの本を紹介していく。	
			3 新田児	・中央図書館の児童新刊案内「よむらび通信」を見やすい所に掲示し、図書選びの参考になるようにする。 ・ブックスタートの本の交換ができることを検診などでPRする。 ・新刊やおすすめ本を見やすく紹介していく。	
			4 石浜児	・親子事業で、絵本の良き読み聞かせの効果等を伝えたり、読み聞かせを実施する。	
			5 石西児	・児童クラブでの読み聞かせの様子をクラブだよりや、保護者などに伝えていき関心を高められるようにする。 ・こあらの日の際に読み聞かせの大切さを伝える。	
			6 生路児	・「よむらび通信」を見やすい場所に掲示する。 ・おすすめの本を玄関ホールなど利用者がよく見える場所に展示したり児童館だよりなどで紹介したりする。 ・ブックスタートの交換ができることを児童館だより、こあら・はなはなだより、掲示、健診等でPRしていく。	
			7 藤江児	・「よむらび通信」を見やすいところに掲示していく。 ・親子支援事業の時に、絵本の楽しさや大切さを伝えていく。 ・ブックスタートの交換ができることを児童館だより、こあら・はなはなだより、掲示、健診等でPRしていく。 ・新刊やおすすめの本を紹介していく。	
			8 支援セ	・絵本の読み聞かせを通して絵本の良さを伝えていく。 ・ブックスタートの本が交換できるよう検診やポスターなどでPRする。	
児童館・子育て支援センター	3 関連機関の連携・協力	⑤団体貸出制度の推進	1 森岡児	・読み聞かせ、こあらの日、行事等の職員の読み聞かせ時に図書館の本・紙芝居を利用する。	
			2 緒川児	・親子事業や行事等に図書館の大型絵本や紙芝居を利用する。	
			3 新田児	・こあらの日、はなはなベビィ; 活動やイベント時の読み聞かせの際に図書館の本を利用する。	
			4 石浜児	・親子事業のイベント時に使用する。	
			5 石西児	・日々の読み聞かせで様々な物語に親しめるよう団体貸出制度を利用し紙芝居等を活用する。	
			6 生路児	・はなはなベビィ・こあらの日や行事の際、大型絵本などを借りて利用する。	
			7 藤江児	・こあらの日、行事等で大型絵本を借り利用する。	
			8 支援セ	・ボランティア団体や子育てサークルへの紙芝居の貸し出しを行う。	

基本理念 「人から人へ 伝えよう本の楽しさ 未来へつなぐ読書体験」

関係機関	3つの柱	具体的な取組 (重点目標)	取組内容		達成度
		⑩リサイクル資料の活用	1 森岡児	・中央図書館や家庭で不用になった本を活用する。	
			2 緒川児	・中央図書館や家庭で不用になった本を活用する。	
			3 新田児	・中央図書館や家庭で不用になった本を活用する。	
			4 石浜児	・児童館内のお宝市場でリサイクルの推進をする。	
			5 石西児	・図書館や家庭で不用になった本を活用する。	
			6 生路児	・中央図書館や家庭で不用になった本を活用する。	
			7 藤江児	・中央図書館や家庭で不用になった本を活用する。	
			8 支援セ	・家庭で不要になった絵本は子育て支援センター内で活用する。	

東浦町子ども読書活動推進計画 2024年度（令和6年度） 計画書（健康課）

第4次計画（2024～2028年度）

基本理念 「人から人へ 伝えよう本の楽しさ 未来へつなぐ読書体験」

関係機関	3つの柱	具体的な取組 (重点目標)	各校の取組内容	達成度
保健センター	1 本を好きになる機会の提供	① 読み聞かせ事業の継続 (図書の計画的購入)	・ 健診の待ち時間に利用する絵本コーナーを設置する。 ・ 6冊の絵本の購入を検討する。	
		④ ブックスタート事業の充実	・ ブックスタート事業のポスターをロビーに掲示する。 ・ ブックスタート事業として、4か月児健診にて絵本を渡す。また、1歳6か月児健診で絵本及び引換券を渡し、図書館・子育て支援センターや児童館に絵本を取りに行くよう勧奨する。	

東浦町子ども読書活動推進計画 2024年度（令和6年度） 計画書（生涯学習課）

第4次計画（2024～2028年度）

基本理念 「人から人へ 伝えよう本の楽しさ 未来へつなぐ読書体験」

関係機関	三つの柱	基本的な活動・組具体的な取組（重点目標）	取組内容	達成度
文化センター	3 関連機関の連携・協力	中央図書館、保育園、児童館、子育て支援センター、小中学校、保健センターとの連携	・ 東浦町子ども読書活動推進会議を開催し、当計画の取り組みについて協議することで、目標に向けて計画が推進されるよう、支援を行う。	

2024（令和6）年度 東浦町子ども読書活動推進計画 計画書 <町内小中学校>

関係機関	3つの柱	具体的な取組 (重点目標)	実 施 内 容		達成度
学 校	1 本を好きになる機会の提供	⑤ 読書タイムの継続	藤江小	・朝8:25～8:40に読書タイムを週4日実施し、読書に親しむ時間の確保に努める。	
			生路小	・毎週木曜日と金曜日、朝8:20～8:35の15分間を読書タイムとして全校児童で取り組む。読書する本の対象を学校図書コーナーで借りた本、学級文庫の本、自宅から持参した本、中央図書館の本とする。金曜日は担任等の読み聞かせを行う。	
			片葩小	・月・水・金曜日の朝8:25から8:40までの15分間行う。適宜、担任による読み聞かせをする。	
			石西小	・毎週月曜日から木曜日の朝15分間を読書タイムとして日課に組み入れる。	
			緒川小	・火曜日～木曜日のうち週2日、朝8:30～8:40の10分間、自由読書を行う。 ・年3回、担任や学年の教師による読み聞かせを行う。	
			卯ノ里小	・毎週月曜、水曜、金曜8:20～8:35の15分間を読書タイムとし、学校全体で取り組むことで、読書に親しむ時間を確保できるようにする。	
			森岡小	・毎週火曜日と木曜日の朝、15分間の読書タイムを設定し、自由読書を行う。また読書の記録を書いたりする。 ・隔週月曜日の朝、15分間読書をしたり、テレビ放送による読み聞かせ（先生、図書委員）を視聴したりする。	
			東浦中	・図書の選定・紹介コーナー設置に力を入れる。 ・年2回の図書館まつりで貸し出し可能冊数を増やし、多くの本を読ませ、読書への興味を高めさせる。	
			北部中	・毎日10分間の読書タイムを設け、全員が読書する習慣の定着を図る。 ・毎週月曜日の昼の放送で図書館サポーターから図書の紹介を行い、読書タイムの本選びの参考にさせる。	
			西部中	・毎週月曜日から金曜日（水曜日以外）の、8:25から8:35の10分間で、読書タイム（西中タイム）を行う。	
	1 本を好きになる機会の提供		藤江小	・PTA研修部に協力を依頼し、各クラス学期に数回は朝の読書タイムに読み聞かせを行う。 ・教師による読み聞かせを年に数回行う。 ・図書委員による読み聞かせを行う。	
			生路小	・毎週金曜日に担任が読み聞かせを行う。年3回担任以外の教員による読み聞かせや図書委員会児童の読み聞かせも行う。	
			片葩小	・ペアによる読み聞かせ（高学年が低学年に、低学年が高学年に）や、担任を入れ替えて読み聞かせを行う。また、PTA委員による読み聞かせを行う。	
			石西小	・年間6回、読書タイムに教師による読み聞かせを実施する。また、異学年交流会などでペアによる読み聞かせを実施する。	
			緒川小	・地域の読み聞かせボランティアによる大型絵本の読み聞かせや、放課に低学年が好きな本をボランティアに読んでもらう機会を作る。 ・図書館サポーターや図書委員、ペアの高学年による読み聞かせを行う。	

2024（令和6）年度 東浦町子ども読書活動推進計画 計画書 <町内小中学校>

関係機関	3つの柱	具体的な取組 (重点目標)	実 施 内 容		達成度
学 校	1 本を好きになる機会の提供	⑥ 読み聞かせの工夫	卯ノ里小	・学期に数回、保護者読み聞かせボランティア「ピーターパン」に来校してもらい学年ごとに読み聞かせを行う。その際、クラスを複数のグループに分けて、少人数で読み聞かせを行うことができるようにする。 ・学期に1回程度、担任や担任以外の職員による読み聞かせを行う。 ・年に2回程度、委員会で全校への読み聞かせを行う。	
			森岡小	・PTAが主催し、年間6回、火曜日の2時間目に読み聞かせを行う。地域の読み聞かせグループをゲストに呼び、読み聞かせをする。 ・月1回、15分間のテレビ放送による読み聞かせを教師と図書委員が行う。 ・児童会と協力して、ペア学年で読み聞かせを行う。 ・読書タイムか授業時間を使って、図書館サポーターによる読み聞かせやブックトークを各学級1年間に1回ずつ行う。	
			東浦中	・図書館サポーターや諸機関などと連携して読み聞かせを行っていく。	
			北部中	・さまざまな授業で、教科担当が図書館の本を教材として活用する。	
			西部中	・教員による読み聞かせを、年3回程度実施する。	
学 校	1 本を好きになる機会の提供	⑦ マイブックの習慣化	藤江小	・マイブックの習慣化を呼びかけ、雨天時の放課や給食後などの隙間時間にも読書が楽しめるようにする。	
			生路小	・読書タイムを設定することで、読書の習慣化を図る。自宅から持参した本を読むことも勧める。	
			片葩小	・ピンクBOXを使い、本の配置を工夫して魅力ある図書館にする。また、学級へは「おすすめの本」を配付し、中央図書館からの本の貸し出し等を利用して、身近な場所へ本を置き、さまざまな本を手にする機会を増やす。	
			石西小	・家庭からの本の持参を認め、朝の読書タイム等に読書できるようにする。図書館まつりでマイブックに使用できるもの（ブックカバーやしおり）を作成し、本に親しませる。	
			緒川小	・読書タイムを設定することで、読書の習慣を身に付けさせるとともに、自分の興味や学年に応じた本を常に身近に置くように習慣付ける。	
			卯ノ里小	・本の貸し出しを1回につき2冊と、借りた本は自分で保管をして、いつでも気軽に手にとって本を読むことができ、愛着をもって本に親しむことができる。	
			森岡小	・机の中に読みかけの本を入れておくことを勧める。	
			東浦中	・休み時間に読む本として、自宅から興味のある本を持参することを推奨する。	
			北部中	・家庭からの本、興味のある本の持参を認め、朝の読書タイムに活用し読書意欲の向上に努める。	
			西部中	・毎朝の読書タイムには、自分たちで本を持参させる。	

2024（令和6）年度 東浦町子ども読書活動推進計画 計画書 <町内小中学校>

関係機関	3つの柱	具体的な取組 (重点目標)	実 施 内 容		達成度
学 校	1 本を好きになる機会の提供	⑧ 家庭読書の推奨	藤江小	・夏期休業中と冬期休業中は、学校の図書貸し出しを一人3冊とし、家庭読書の一つとして利用させる。	
			生路小	・除籍した図書を児童にリサイクル本として還元し、家庭での読書に活用してもらう。	
			片葩小	・「夏休みの生活」の便りに、親子での読書を勧める。また、低中学年児童へ「親子読書カード」を配付。高学年児童へは「読書カード」を配付する。	
			石西小	・夏季休業を利用し、親子読書活動を実施する。家庭向けの案内プリントを配付し、読んだ本や感想を記入し提出してもらう。また、図書館に感想を掲示する。	
			緒川小	・家庭に図書を持ち帰ったり、よむらび電子図書館を紹介したりして読書に親しむよう促す。	
			卯ノ里小	・夏季休業中は学校の図書を一人3冊貸し出し、家庭読書の一つとして利用させる。多様な家庭があり、各家庭によって本を所持している冊数等は異なるが、学校から本を貸し出すことにより、児童は家庭でも読書習慣を身に付けることができる。	
			森岡小	・PTAが図書新聞を随時発行する。親子読書を勧める。	
			東浦中	・定期的に、図書館だよりを発行する。	
			北部中	・図書館で貸し出した本の持ち帰りを認める。 ・図書館だよりを発行し、家庭での読書や選書の参考にしてもらう。	
			西部中	・夏休み・冬休み等の長期休業中においても、図書コーナーの本の貸し出しを許可し、家庭で本を読む機会を増やす。	
学 校	1 本を好きになる機会の提供	⑨ 望ましい図書資料の選定	藤江小	・各学年の教師が、発達段階にふさわしい図書資料を選ぶ。また、特別支援の教師や、専科の教師、養護教諭等にも声をかけ、様々な人の目で選ぶ。最終的には、読書サポーターと図書主任が確認をし、図書全体のバランスを見て必要な本を購入する。	
			生路小	・学年の発達段階に応じた図書を選定し資料の充実を図る。 ・東浦町中央図書館から学期ごとに150冊の図書を借り、各学年の学級文庫の充実を図る。	
			片葩小	・各学年の教師が発達段階にふさわしい図書資料を選ぶ。また、特別支援や専科の教師、養護教諭にも声をかけ、さまざまな人の目で選ぶ。最終的には、読書サポーターと図書主任が確認をし、図書館全体のバランスを見て必要な本を購入する。	
			石西小	・年度初めに、業者に本を持参してもらい、全職員・学校図書館サポーターで現物を見ながら児童の実態に合った本を選ぶ。	
			緒川小	・図書館サポーターや図書館サービスの情報を参考に、学習に必要な図書資料の充実を図る。	
			卯ノ里小	・年度始めに、(財)東海図書館サービスに来校していただき各学年に望ましい図書資料の選定を行う。	
			森岡小	・5～6月に図書を購入する。授業で使う本を随時購入する。	
			東浦中	・図書主任と図書館サポーターで協力し、蔵書バランスを考えて、購入図書を選定する。また、教職員や生徒から意見を聞き、選定の参考にする。	
			北部中	・図書巡回の際に、委員会生徒や複数の教員の目で確認した上で図書館に配架する本を選定する。	
			西部中	・図書購入の際に図書委員を立ち会わせたり、学校司書の意見を取り入れたりして、生徒のニーズに合った本や中学生に望ましい図書を購入する。また、「本に親しむ愛知っ子事業」に申し込み、課題図書を整備する。	

関係機関	3つの柱	具体的な取組 (重点目標)	実 施 内 容		達成度
学 校	2 読書に親しむ環境の整備	⑩ 推薦図書コーナーの工夫	藤江小	・各学年15冊のすすめ図書文庫を設置済み。すすめ図書の読書記録用紙を準備し、読書を勧める。	
			生路小	・各学年の学級文庫に「推薦図書」を入れ、1年間で10冊読むことを目標とする。 ・児童の図書ファイルに推薦図書のリストを入れ、読んだら自己評価させる。	
			片葩小	・各学年の授業内容や発達段階に合わせた「おすすめの本」を、各クラスに10冊ずつ配る。	
			石西小	・学年ごとに推薦図書を選定し、年度内に完読することを目指すとする。読んだ感想や心に残った場面などを読書記録として書かせる。	
			緒川小	・図書館サポーターと協力して、各学年にある図書コーナーに推薦図書を並べたり、全児童の目につきやすい場所におすすめの本を掲示したりして、児童が本を手に取りやすいコーナーにする。	
			卯ノ里小	・学校図書館サポーターと連携し、図書館の整備をする。季節や流行の本を定期的に入れ替えることで児童の興味関心を引く推薦図書コーナーを整える。	
			森岡小	・季節や行事に合わせて、図書館サポーターや図書委員が推薦図書を選び、おすすめの本としてコーナーを作って設置する。 ・モリモリ推薦図書として各学年で推薦図書を選定し設置する。	
			東浦中	・図書館サポーターによるコーナーの充実を図る。委員会で作成した図書ポップなどを掲示する。	
			北部中	・委員会で帯作り活動やPOP作りを行ったり、教科の授業や総合の内容に関連した特設コーナーを設置したりする。	
			西部中	・図書委員会の活動や学校司書を通じ、新刊図書や推薦図書のコーナーを設け、本に興味や関心をもたせるような配置をする。	
学 校	2 読書に親しむ環境の整備	⑪ 学級文庫充実事業の充実	藤江小	・校内の図書館の廃棄本や数冊ある本を、リサイクル本として学級文庫に配架する。 ・中央図書館からの学級文庫を一定期間ごとにクラス間で交換する。	
			生路小	・定期的に学校図書コーナーの本を学年の本棚に移動して、学級文庫の充実を図る。 ・東浦町中央図書館から借りた本を活用して、学級文庫の充実を図る。	
			片葩小	・中央図書館や校内の図書館の廃棄本等を利用して、学級文庫に配架する。また、中央図書館に本の貸し出しをお願いして学級文庫として配架し、さまざまな本に触れられるようにする。	
			石西小	・学級ごとに学級文庫を設置し、年度内にクラス間の入れ替えを行う。また、中央図書館から借りた本も置き、本の充実を図る。	
			緒川小	・学級文庫は無いが各学年に図書コーナーがあるため、学年に応じた本やおすすめの本を置くようにする。	
			卯ノ里小	・本校では、図書館以外に各学年の図書コーナーが常設されており、学年の実態に応じた学校図書が排架されている。児童にとって身近な環境に本を置くことで、児童の読書を積極的に促す。	
			森岡小	・各学級に80～100冊。年度の途中で入れ替えをする。中央図書館からのリサイクル本を学級文庫に入れる。	
			東浦中	・図書館の廃棄本を学級に置く。図書の入れ替えについても、できる限り行うようにする。	
			北部中	・委員会活動で学級やラーニングに図書コーナーを設置し、さらに多くの生徒が図書に触れる機会を作る。	
			西部中	・各クラス30冊程度の学級文庫を配布し、一定期間でローテーションを行い、多くの本に触れる機会を設ける。	

関係機関	3つの柱	具体的な取組 (重点目標)	実 施 内 容		達成度
学 校	3 関連機関の 連携・協力	⑮ 団体貸出制 度の推進	藤江小	・中央図書館から学期ごとに約100冊の貸し出しを受け、学級単位で回す。	
			生路小	・東浦町中央図書館の団体貸出可能枠を利用し、各教科で必要な資料を充実させる。	
			片葩小	・団体貸し出しの利用方法を定期的に各学年の教師に知らせ、学習状況に応じて貸し出しを利用するように促す。	
			石西小	・学年ごとに中央図書館の団体貸し出しを利用して、各教科及び総合的な学習の時間で利用する学習資料の充実を図る。	
			緒川小	・町中央図書館の団体貸出制度を利用し、学習に必要な資料を充実させる。 ・町中央図書館から学期ごとに150冊の図書を借り、学年に応じて配架する。	
			卯ノ里小	・学校図書館サポーターと連携し、学期に1回程度、団体貸出制度を利用して学級文庫の充実を図る。また、各教科の学習の際に団体貸出を利用できることを職員で情報共有し利用を促す。	
			森岡小	・団体貸出の利用を知らせ、各学年の先生に授業への活用を呼びかける。	
			東浦中	・総合的な学習の時間や行事のテーマに合わせて、資料となる本を提供できることを周知させる。	
			北部中	・中央図書館からの情報を校内掲示板や職員会議で周知する。	
			西部中	・職員への周知を図る。	
学 校	3 関連機関の 連携・協力	⑯ リサイクル 資料の活用	藤江小	・本のリサイクルフェアにて譲渡を受け、図書館や学級文庫に入れる。	
			生路小	・東浦町中央図書館のリサイクル資料を積極的に活用する。	
			片葩小	・図書館に不足している資料の種類を調べ、中央図書館にリサイクル資料を依頼し、活用する。	
			石西小	・中央図書館等のリサイクル本を積極的に活用する。	
			緒川小	・町中央図書館のリサイクル資料などを積極的に活用してもらえるように職員に声をかける。	
			卯ノ里小	・中央図書館等のリサイクル本を積極的に活用する。	
			森岡小	・学級文庫に入れ、学級文庫の魅力を増やす。	
			東浦中	・学級文庫に加えるなど、有効に活用していく。	
			北部中	・中央図書館からの情報を校内掲示板や職員会議で周知する。	
			西部中	・町中央図書館が企画するリサイクルフェアに積極的に参加し、学校図書の充実を図る。	

2024（令和6）年度 東浦町子ども読書活動推進計画 計画書 <町内小中学校>

関係機関	3つの柱	具体的な取組 (重点目標)	実 施 内 容	達成度
	4 その他の取組		藤江小 ・読書週間を設定し、読書ビンゴを実施する。 ・毎学期末に多読賞を表彰する。 ・授業でよむらび電子図書館を活用する	
			生路小 ・コスモス読書週間で、読書郵便、リサイクル資料の配付。 ・担任以外の教員による読み聞かせ（年3回）図書委員会児童による読み聞かせ（年4回） ・夏季休業中の児童への本の貸出冊数を増やす。（5冊まで→10冊まで）	
			片葩小 ・読書通帳の活用。 ・毎学期ごとに、本の貸し出し冊数を児童へ知らせる。 ・読書郵便によるおすすめの本の紹介。	
			石浜西小 ・年度末に多読賞を表彰する。 ・どんぐり読書週間に図書館まつりを行い、読書ビンゴや図書委員会児童による読み聞かせなど本に親しめるイベントを行う。	
			緒川小 ・ペア活動の機会に、ペア読書を行う。 ・図鑑や調べ学習ができるような本を学校の一カ所に集め、どの学年の児童も利用できる学習情報センターとしての役割をもたせる。	
			卵ノ里小 ・80冊以上を多読賞とし、年度末に表彰する。 ・読書通帳を活用し、児童が多くの本を読める環境を整える。 ・ペア読書を学期に1回程度行うことで、異学年の児童との交流を図る。 ・年に2回程度委員会での企画を行うことで、本に興味をもてるようにする。	
			森岡小 ・学年ごとに決められた年間目標冊数を提示し、毎学期目標を達成できた児童に、多読賞を渡す。 ・図書委員会の児童による図書館便りを発行する。 ・11月に、図書委員会主催の図書館祭りをを行う。	
			東浦中 ・各学年の国語科の授業で、図書館利用のガイダンスを行い、読書への興味をもたせるとともに、利用のルールのお知らせを図る。町図書館の利用の仕方についてもふれる。	
			北部中 ・読書通帳のリニューアルを行い、参加者を増やす。 ・多読賞の表彰を継続する。	
			西部中 ・図書委員による「図書新聞」やお昼の放送等を通じ、図書委員会の広報活動を行い、図書や図書館への親しみを深める。	

第4次計画（2024～2028年度）

基本理念 「人から人へ 伝えよう本の楽しさ 未来へつなぐ読書体験」

関係機関	3つの柱	具体的な取組 (重点目標)	取組内容	達成度
中央図書館	1 本を好きになる 機会の提供	子どもたちに親しまれる行事	・読み聞かせボランティアグループ、図書館スタッフが毎週水曜日（乳幼児向け）と土曜日（絵本、紙芝居の読み聞かせ）に「おはなし会」を実施する。 ・気温、天候共に良好な土曜日は「お外も図書館」として石田公園で行う。 ・読書感想文・感想画を奨励または、支援する講座を開催する。 ・よむらびフェスタ、クリスマス会、ぬいぐるみおとまり会やハロウィンの仮装おはなし会を実施し、図書館に親しむためのきっかけづくりとする。 ・中央図書館作成の「読書通帳」を配布し、子どもたちの利用を促進する。	
		司書によるおすすめ本の紹介	・各年代対象別におすすめ本のリスト「読書のすすめ！」を作成し配付する。 ・新刊案内を発行し、配布する。	
		「よむらび」マスコットキャラクターの普及	・マスコットキャラクター「よむらび」を普及推進し、図書館へのイメージアップを図る。 ・「よむらび」を使用した各種行事を実施し、子どもたちの興味・関心を高める。 ・「よむらび」の着ぐるみを活用し、図書館のPRを図る。	
		図書館からの情報発信の電子化	・新刊案内「よむらび通信」を発行し、配信する。 ・3・4年生向け「中央図書館だより」を年2回発行する。	
	2 読書環境の整備・工夫	絵本を中心とした児童図書の選定	・県立図書館等より児童に関する情報の提供を受け、有用な情報は幼稚園、小学校に提供していく。 ・年間を通して寄贈本の呼びかけを行い、資料の充実を図る。	
		特集展示（館内）の工夫	・毎月テーマを設定して特集展示を工夫し関連図書の貸出促進に努める。 ・新刊図書コーナーや常設展示資料の充実にも努め、読書の推進を行う。また、読書の幅を広げる機会の提供を行う。	
		⑫ 多様な子どもたちに対応した読書環境の提供	・外国語の児童向け絵本を継続的に購入する。 ・布絵本、点字絵本、LLブックの購入、読書補助具「リーディングトラッカー」の設置など、障がいのある子どもたちが利用しやすい環境の充実を図る。	
		中高生向け本棚の充実	・中高生向けの図書を集めた本棚を設置し、司書等が選書した中高生向けの図書を提供する。	
		⑬ デジタル社会に対応した環境整備	・よむらび電子図書館及び子ども向けホームページのコンテンツの充実を図る。	
		⑭ 電子図書館の活用	・よむらび電子図書館に読み放題の図書、朝読や授業で活用できる図書を継続購入する。 ・希望する小中学校の全児童生徒にIDを配付し、電子図書館が利用できる環境を整える。	
		アクセシブルな書籍による読書支援	・絵本や読み物などの子ども向けコンテンツをよむらび電子図書館に定期的に購入する。 ・オーディオブックや自動読み上げ可能なコンテンツを購入し、多様な子どもたちが読書に親しむことができる電子図書の充実を図る。	
	3 関連機関との連携・協力	⑮ 団体貸出制度の推進	・団体貸出の利用方法を学校、保育園、児童館へ通知し、利用を継続的に呼びかける。 ・授業のカリキュラムを理解し、授業で活用できる資料を選書し、蔵書する。	
		⑯ リサイクル資料の活用	・4月（本）、6月（雑誌）、11月（本）の年3回、中央図書館、家庭で不要（寄贈本）になった資料を保育園、児童館、学校、保健センター、文化センター等に提供する。その後、リサイクルフェアで一般に配布、提供し再利用に努める。	
		図書館ボランティアとして、児童・生徒・大学生の受け入れ	・7月から12月までの期間、小学校5年生から高校生までの図書館ボランティアを継続的に受け入れる。	

第4次計画（2024～2028年度）

基本理念 「人から人へ 伝えよう本の楽しさ 未来へつなぐ読書体験」

関係機関	3つの柱	具体的な取組 (重点目標)	取組内容	達成度
中央図書館	3 関連機関との連携・協力	⑭ 図書館ボランティア団体との連絡会	・年に一度、図書館ボランティア団体の代表者会議を開催し、図書館行事への連携・協力を依頼する。	
		⑮ 中央図書館の利用	・よむらびフェスタ、読書キャンペーンをはじめ、子どもたちが読書に親しむ契機となる多様なイベントを企画し、親子の来館機会の増加に努める。 ・読書に関する情報を充実させ、親子の選書を支援する。	
	その他の活動	④ ブックスタート事業の充実	・4か月児・1歳6か月児に絵本を配付する。4か月児健診会場では、絵本1冊と利用案内を配付。1歳6か月児健診会場では絵本引換券を配付。 ・読み聞かせボランティアが4か月児の保護者に読み聞かせを実演する。 ・4か月児は絵本『まるまる』、1歳6か月児は各施設で絵本3種類から1冊を選ぶ。 ・本との出会いの提供とともに各施設の利用促進につなげる。	
		学級文庫充実事業の充実	・学校図書館支援として、中央図書館の閉架書庫の資料を各校の学級文庫として巡回させる。（150冊×3学期）町内各小学校を対象とする。	
		学校図書館担当者との情報交換	・学校図書館担当教諭等に図書に関する資料及び情報を提供していく。 ・学校図書館サポーターと図書館指導員が隔月1回打合せを開催し情報交換を行う。 ・学校図書館主任者会に図書館長と学校図書館担当者が参加し情報交換を行う。	